



神奈川県内のコミュニティビジネス事業者のご紹介

改訂版

平成21年2月

神奈川県コミュニティビジネス創出支援実行委員会 編

はじめに

地域の課題解決や多様化するニーズの充足のため、地域住民自らがビジネスの手法を用いて取り組む、いわゆるコミュニティビジネスが、新たな地域活性化の担い手及び雇用機会の受け皿として期待されています。

神奈川県では、地域の多様なコミュニティビジネスが定着することにより、地域の活性化が図られることや、女性や高齢者などの活躍の場としても期待されていることから、平成16年度から「神奈川県コミュニティビジネス創出支援実行委員会」を組織しコミュニティビジネス支援に取り組んでいます。

今回、これまで当実行委員会が支援してきた数多くのコミュニティビジネス事業者の中から、各分野で活躍されているコミュニティビジネス事業者の方々の活動を、創業の動機や事業運営上の課題、今後の展望等も含めご紹介いたします。

本事例集を通じて、これからコミュニティビジネスを始めようとする方、様々な分野でコミュニティビジネスの活動をされている方、また、コミュニティビジネスの支援をされている方にお役立ていただければ幸いです。

なお、本事例集は、平成21年2月時点での各団体の活動内容等をご紹介したものです。内容については、掲載団体の活動のごく一部であることをご承知おきください。

また、各団体の活動の詳細や最新情報等についてお知りになりたい方は、各団体のホームページをご覧ください。直接各団体へお問い合わせください。

平成21年2月

神奈川県コミュニティビジネス創出支援実行委員会

【事務局】財団法人神奈川産業振興センター 企画情報部 経営革新支援課
神奈川県中小企業団体中央会 組織支援部 サービス支援チーム
神奈川県 商工労働部 産業活性課

コミュニティビジネスとは？

コミュニティビジネスに統一された定義はありませんが、本県では、「**地域の課題解決やニーズ充足のため、地域の資源を活用しながら、地域住民自らが主体となって継続的に実施する地域密着型ビジネス**」として捉えています。

具体的には、子育て、福祉、まちづくりなど、地域が抱える様々な課題を解決するために、提供した財・サービスの「対価・報酬」を得て活動し、それによって組織を維持・運営しながら、継続的に地域に財・サービスを提供していくようなビジネスの形態と捉えることができます。

【神奈川県内のコミュニティビジネス事業者のご紹介 目次】

No. 1	アソシエCHACO	2
No. 2	アートコミュニティ モラモラ	4
No. 3	特定非営利活動法人 アンガージュマン・よこすか	6
No. 4	カフェマイム	8
No. 5	特定非営利活動法人 コスモス	10
No. 6	特定非営利活動法人 子どもと生活文化協会	12
No. 7	特定非営利活動法人 湘南スタイル	14
No. 8	スパイスクラブ	16
No. 9	特定非営利活動法人 すまいるスキップ・こども塾	18
No. 10	特定非営利活動法人 善行援助サービス	20
No. 11	株式会社 空とぶ亀	22
No. 12	パソコン・コミュニケーション・アシスト ピコピコ	24
No. 13	特定非営利活動法人 ほっとハンド	26
No. 14	特定非営利活動法人 ままとんきっず	28
No. 15	協同組合 やまと商業活性化センター	30
	(参考資料1) 神奈川県内自治体のコミュニティビジネス支援窓口	32
	(参考資料2) 神奈川県内のコミュニティビジネス支援のこれまでの取組	35
	(参考資料3) 本事例集作成に係る専門家のご紹介	41